ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

Press Release

政府統計

報道関係者　各位

令和2年 11 月 25 日
【照会先】
政策統括官付参事官付世帯統計室
縦断調査管理官　　佐藤　惠治
室長補佐　　滝田　小百合
（担　　当）　中高年者縦断統計係
（代表電話）　03-5253-1111（内線 7594）
（直通電話）　03-3595-2323

第 15 回「中高年者縦断調査（中高年者の生活に関する継続調査）」の結果を公表します

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「中高年者縦断調査（中高年者の生活に関する継続調査）」の第 15 回（令和元年）結果を取りまとめましたので公表します。

中高年者縦断調査は、平成 17 年 10 月末に 50～59 歳であった全国の中高年者世代の男女に対して、家族の状況、健康の状況、就業の状況などを継続的に調査し、高齢者対策などの厚生労働行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。第 15 回調査では、平成 17 年度の第 1 回調査から協力が得られた 17,538 人について集計しており、調査対象者の年齢は、64～73 歳となっています。

【 調査結果のポイント 】

１　健康状態の変化

第１回調査（14 年前）から健康状態がずっと「よい」と思っている者が、継続して健康維持のために心がけていることは、男では「適度な運動をする」、女では「バランスを考え多様な食品をとる」が最も高い。（４頁　図２）

２　就業希望と求職の状況

第 15 回調査で「仕事をしたい」が求職活動を「何もしていない」割合は 12.2%であり、何もしていない理由は「病気・けがのため」、「希望する仕事がありそうにない」の割合が高い。（7頁　表5）

（単位：%）

何もしていない	100.0
探したが見つからなかった	10.5
希望する仕事がありそうにない	17.4
知識・能力に自信がない	3.6
病気・けがのため	19.3
高齢のため	15.4
家事や育児のため	4.4
家族の介護・看護のため	8.0
急いで仕事に就く必要がない	12.7
その他	7.2

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。